

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

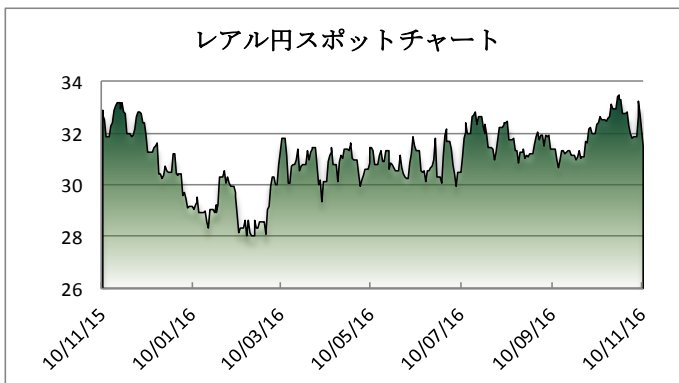
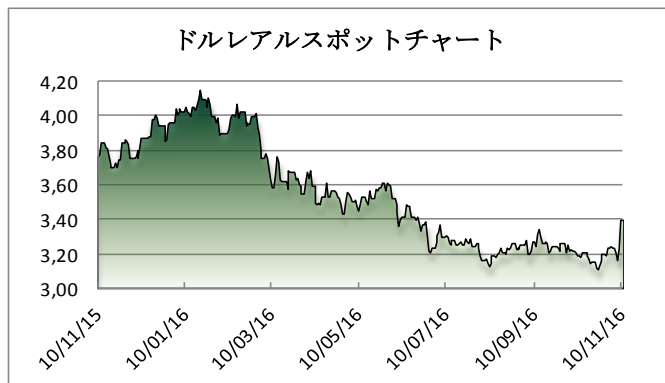
昨日のドルレアルスポット相場は、グローバルにトランプ氏勝利によるリスク回避の動きが沈静化したことで、レアルを含む新興国通貨も対ドルで買いが優勢になるかと思われたが、同氏が選挙公約で掲げている拡張的財政政策を背景にインフレ期待が強まり、ドル買い主導でレアルが急落。節目の3.30を上抜けると、6月28日以来の水準となる3.38台後半まで瞬く間に(ドルが)水準を切り上げた(1日の値幅としては2008年9月以来約8年ぶり)。インフレ期待の強まりが、Fedの利上げペースを加速させるとの思惑が広がったことが要因と推測される(なお、セントルイス連銀総裁のBullard総裁は、「12月は利上げに妥当なタイミング」と、トランプ氏が勝利した以降も自身の経済見通しに変化はないと改めて表明している)。ブラジル中銀は9日、大統領選の影響を見極めるため、「リバース通貨スワップの入札を10日も見送る」との声明をウェブサイト上に掲載したが、昨日のボラティリティの高まりを受け、本日1万5千枚の通貨スワップ入札(ドル売りに相当)を実施すると公表した。また、一部では大統領選の影響を見極めるため、今月29-30日に予定されているCOPOMでの利下げ予想幅を、従来の50bpsから25bpsへ下方修正する動きも始めている。

Goldfajn中銀総裁は、チリのサンティアゴで開催されたイベントにおいて、「注意深くマーケットを監視し、必要な措置を講じる」と改めて発言したが、具体的な政策についてはコメントを差し控えた。

マーケットデータ

Indicator		Unit	11月9日	11月10日	前日比	10月10日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,2254	3,3932	+0,1678	3,2065	+0,1867
	対円	JPY	32,76	31,48	-1,28	32,31	-0,83
	対ユーロ	BRL	3,5257	3,6979	+0,1722	3,5719	+0,1260
円	対ドル	JPY	105,67	106,83	+1,1600	103,61	+3,2200
	対ユーロ	JPY	115,28	116,37	+1,09	115,41	+0,96
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	63.258	61.201	-2.057	61.668	-467
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	274,2	304,2	+30,0	271,0	+33,2
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11,55	11,98	+0,43	11,35	+0,63
DI Future Apr17 (金利先物)		%	13,30	13,34	+0,04	13,21	+0,13
3 Months US Dollar Libor		%	0,887	0,887	+0,000	0,874	+0,013
CRB Index (国際商品指数)		Index	184,0	183,3	-0,7	190,3	-7,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。